

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

おん ね ない

月刊 温根内 通信

2026年4月号 No.355

4月15日(水)発行



暖かすぎる？春

春の陽気が釧路湿原を包んでいます。とは言いつつ、何だか暖かすぎて、早くも今年の夏の気温が心配になってしまいます。植物の開花も、今年も早い傾向が見られます。

温根内木道では、タンチョウの姿が時々見られるようになりましたがこれも早春の風景です。今はつがいで歩いていますが、そのうちどこかに営巣して、気配を消してしまいます。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた自然 (3/15～4/14) ☆☆☆



【ミツバベンケイソウの芽吹き】
ベンケイソウ科 三葉弁慶草
ハンノキの株元から緑白色の葉が見えていました。温根内では減少傾向なので無事に生長してほしいです。



【ワタスゲ】
カヤツリグサ科 綿菅
ミズゴケ湿原に最初に咲いて春を告げる花。6月に白い綿毛をつけるのは本種の実です。



【ヒメイチゲ】
キンポウゲ科 姫一華
樹木の株元やヤチボウズの上などでひっそり咲きます。小さいので注意しないと見逃してしまいます。



【エゾタヌキ】 イヌ科 蝦夷狸
暖かくなり、動物も活発に動き始めています。湿原にも生息する本種ですが、時々道路脇からも出てきてドライバーをヒヤヒヤさせます。



【クジャクチョウ】 タテハチョウ科
チョウ類の間ではいち早く、タテハチョウの間が舞い始めました。温根内周辺ではこの2種がもよく見られています。このチョウたちは成虫のまま越冬し、春になるとどのチョウよりも早く動き出して花の蜜を得ようとします。今はおもにアキタブキの花を訪花しています。



【エルタテハ】 タテハチョウ科

○表紙の写真 上：タンチョウ 下：キタミフクジュソウ

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた野鳥 (3/15～4/14) ☆☆☆



【オオジュリン】 夏鳥

ホオジロ科 大寿林

夏鳥として釧路湿原に早々にやっ
てきます。「ジューン」という鳴き
声が名前の由来にもなっています。



【モズ】 夏鳥 (一部越冬)

モズ科 百舌鳥

メスがハンノキの枝先に止まりこ
ちを窺っていました。春と秋に時々
見かけます。



【オオハクチョウ】 旅鳥 (一部越冬)

カモ科 大白鳥

上空から声が聞こえるとキョロキ
ョロして姿を探したくなります。こ
れから繁殖地へと旅立っていきます。

○温根内木道周辺で観察された花・鳥 (3/15～4/14)

花 (和名は五十音順 * 外来種)	15	ヒメイチゲ	11	コゲラ	26	ウグイス (4/10 初認)	
1	アオイスミレ	16	フクジュソウ	12	コアカゲラ	27	エナガ
2	アキタブキ	17	ミスバショウ	13	アカゲラ	28	ミソサザイ
3	ウラボロイチゲ	18	ワタスゲ	14	オオアカゲラ	29	ゴジュウカラ
4	エゾエンゴサク	鳥 (和名は日本鳥類目録第8版の順)	15	クマゲラ	30	キバシリ	
5	エゾネコノメソウ	1	ヒシクイ	16	ヤマゲラ	31	ノビタキ (4/10 初認)
6	キジムシロ	2	オオハクチョウ	17	モズ	32	ベニマシコ (4/12 初認)
7	キタミフクジュソウ	3	マガモ	18	カケス	33	カワラヒワ (4/3 初認)
8	キヌヤナギ	4	タンチョウ	19	ハシボソガラス	34	ベニヒワ
9	ケヤマハンノキ	5	オオジシギ (4/11 初認)	20	ハシブトガラス	35	マヒワ
10	コハコベ	6	タシギ (4/3 初認)	21	ヒガラ	36	カシラダカ
11	チシマネコノメソウ	7	アオサギ	22	ハシブトガラ	37	オオジュリン (4/3 初認)
12	ナガバヤナギ	8	トビ	23	シジュウカラ		
13	バッコヤナギ	9	オジロワシ	24	ヒバリ (3/23 初認)		
14	ハンノキ	10	ノスリ	25	ヒヨドリ		

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆ 自然ふれあい行事を開催しました ☆☆☆☆

○「温根内の歴史を探訪しよう」3月15日 参加者：12名 講師：佐藤光則 (元塘路湖 EMC 指導員)

講師の佐藤氏が30年以上前に撮った写真と今を見比べ、温根内周辺がどう変わってきたのかを探る散策会を行いました。ほとんど樹木が見られなかった木道の入り口は今やハンノキやヤチダモが茂り、見通しが随分と違っていました。



歩を進めると、鶴居軌道跡方向に見える崖が土砂採掘場だったことに参加者は驚いていました。湿原の花々は大きく分布を変え、かつてのミツガシワの群落はスゲに覆われてすっかり姿を消してしまいました。鶴居軌道跡では、線路沿いにあった電柱の跡を見つけ、その電線に使われていた碍子も見つかりました。途中、本日ラストランのSL冬の湿原号の汽笛が聞こえ、その煙も遠くに見ることができました。最後に佐藤氏が博物館から借用した、釧路湿原周辺から出土した土器片を参加者に見てもらい、縄文人たちの息吹を感じてもらいました。

☆☆☆☆ 環境省「第5次レッドリスト」が公表されました ☆☆☆☆

環境省レッドリストは、日本に生息・生育する野生生物を対象に生物学的観点から種 (または亜種) の絶滅の危険度を客観的に評価してリストにまとめたものです。レッドリストはおおむね5年ごとに見直されており、このたび「第5次レッドリスト」が公表されました。そこで、ここでは温根内で見られる「鳥類」に関して、前回の第4次と今回の

第5次でどう変わったかを紹介したいと思います。(ここに挙げたのはあくまで温根内周辺で見られる鳥類です。危険度の変更された種はこの他にもたくさんあります。)

【絶滅危険度が引き上げられた種】		
	第4次	第5次
・カシラダカ	ランク外	⇒ I B
・アマツバメ	ランク外	⇒ VU
・ハリオアマツバメ	ランク外	⇒ VU
・ヤマセミ	ランク外	⇒ VU
・マキノセンニュウ	NT	⇒ VU
・ピンズイ	ランク外	⇒ NT
・ココシキリ	ランク外	⇒ NT
・エゾライチョウ	DD	⇒ NT

【絶滅危険度が引き下げられた種】		
	第4次	第5次
・ヒシクイ	VU	⇒ NT
・タンチョウ	VU	⇒ NT
・クマガラ	VU	⇒ NT
・ハヤブサ	VU	⇒ NT
・マガン	NT	⇒ ランク外



●環境省レッドリストのカテゴリー

カテゴリー	定義と基本概念	
絶滅 (EX)	我が国ではすでに絶滅したと考えられる種	
野生絶滅 (EW)	飼育・栽培下、あるいは自然分布域の明らかに外側に野生化した状態でのみ存続している種	
絶滅危惧	絶滅危惧 I A 類 (CR)	深刻な絶滅の危機に瀕している種
	絶滅危惧 I B 類 (EN)	絶滅の危機に瀕している種
	絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅の危険が増大している種
準絶滅危惧 (NT)	存続基盤が脆弱な種	
情報不足 (DD)	カテゴリーを判定するための情報が不足している種	

☆☆☆☆イベントのご案内 (5月) 事前の申し込みが必要です☆☆☆☆
申し込みは開催日の1か月前から受け付けています

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み☎0154-65-2323

♪早朝バードウォッチング

〔日時〕5月17日(日) 8:00~10:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)
〔参加費〕無料 〔集合場所〕温根内ビジターセンター駐車場
釧路湿原は繁殖期を迎えた野鳥のさえずりで大賑わい。何種類の鳥を見つけられるでしょうか?



○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと) ⇒お申し込み☎015-487-3003

♪新緑直前の樹木を見てみよう

〔日時〕5月2日(土) 10:00~12:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)
〔参加費〕無料 〔集合場所〕シラルト口自然情報館駐車場

♪塘路湖北岸秘境の砦(チャシ)探検

〔日時〕5月23日(土) 9:30~12:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)
〔参加費〕無料 〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

~新しい木道開通はもうすぐ~

現在改修工事中で通れない木道区間は、もうすぐ開通する予定です。当初予定より長引いてしまっており、ご不便をおかけしておりますが、もう少々お待ちください。



月刊 温根内通信 No. 355

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター
〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内
Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185
E-mail: ovc@kushiro-shitsugen-np.jp

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

Facebook: [温根内ビジターセンター フェイスブック](#)

開館時間: 9:00~17:00 (11月~3月は16:00まで)
休館日: 毎週火曜日 (12/29~1/3は休館) 入館無料